

Ⅱ. 青少年健全育成に関する活動の概要

Ⅱ-1. 研究助成

1. 募集・応募・選出状況

第23回(2007年度)は、以下により実施しました。

(1) 募集

次の内容で募集を行いました。

(a) 助成趣旨

工業化社会、情報化社会の著しい進展による社会環境の変化は、国民の社会生活に多様な影響を及ぼしています。中でも青少年の健全な心身の発達を阻む面のあることを認めざるをえません。今日生涯の各段階において、人間形成上あるいは社会生活上、絶えず自ら学習することの必要が叫ばれ、そのための学習基盤の整備充実を進めることが求められておりますが、中でも青少年段階におけるそれは重要であると考えます。

こうした青少年の健全な育成、あるいは青少年期における自らの学習への支援を通して、心豊かに生きることの出来る社会の実現を願い、そのためのすぐれた研究に対し、その一助として費用の一部もしくは全部を助成します。

(b) 助成対象

本財団の設立趣旨である「青少年の健全育成」に係る市民活動の活性化に役立つ実践的な研究を対象とします。

対象研究分野：①青少年をとりまく環境 ②コミュニティづくり ③ボランティア育成 ④科学体験
⑤前各号に類する分野

(c) 募集方法

研究者の所属する機関の代表者による推薦方式

(d) 推薦依頼先

国・公・私立大学教育学部を主体に青少年健全育成関係機関の機関長

(e) 助成金総額	500万円
(f) 助成件数	5～6件
(g) 助成期間	1年または2年
(h) 募集期間	2007年4月23日～6月30日

(2) 応募状況

締め切りまでに42件の助成申請書を受理しました。その内訳は、以下のとおりです。

(a) 地域別	・中部以東	28件(67%)
	・関西以西	14件(33%)
(b) 分野別	・青少年をとりまく環境	21件(50%)
	・コミュニティづくり	5件(12%)
	・ボランティア育成	4件(9%)
	・科学体験	7件(17%)
	・前各号に類する分野	5件(12%)

(3) 助成対象の選出

選考委員会(8月1日)において慎重審議の結果、助成候補として6件が選出され、第72回評議員会および第86回理事会において正式に承認決定されました。

(4) 助成金贈呈書の贈呈

2007年10月下旬から11月初旬にかけて申請代表者を訪問し、贈呈書を贈りました。